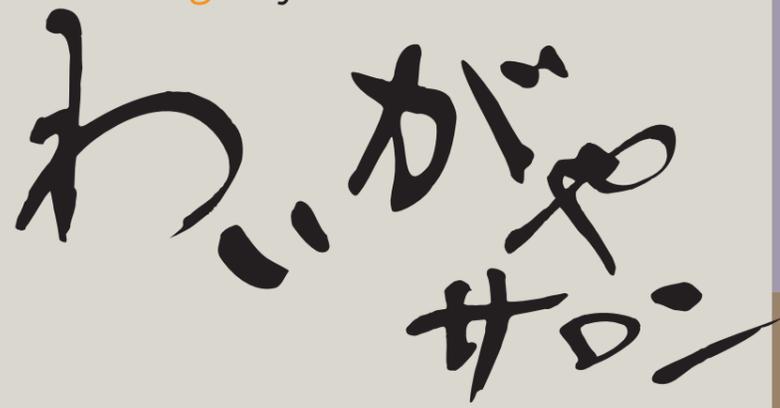


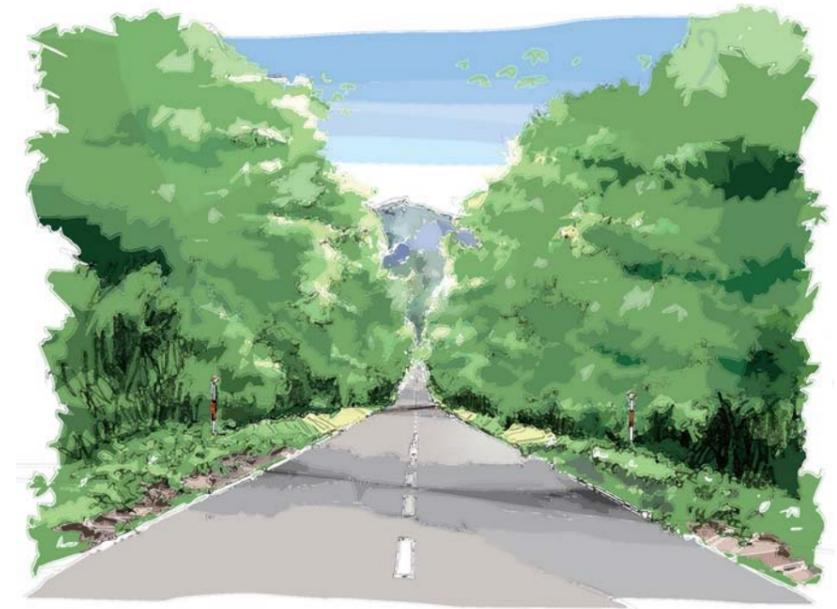
- 第1回/佐倉 一徳さん NHK長野放送局企画総務部副部長 樋口 博さん 長野市産業振興部観光課課長
- 第2回/久米 えみさん ながのクラッセ会長 樋口 敦子さん ながのまちづくりカフェメンバー
- 第3回/鷺沢 幸一さん アスレながの事務局長 室賀 豊さん 長野市アイスホッケー協会理事
- 第4回/清水 隆史さん フォトグラファーほか 常盤 昭二さん CMディレクター
- 第5回/虎羽里(トラバリ)ゼーラさん アーユルヴェーダ・健康セラピスト
- 第6回/竜野 泰一さん 株式会社エーシーエ設計 取締役副社長【一級建築士】
- 第7回/木田 勇さん 信濃グランセローズ監督
- 第8回/荻原 健司さん 参議院議員・五輪金メダリスト
- 第9回/松島 憲一さん 信州大学大学院農学研究所 准教授
- 第10回/松岡 保正さん 国立長野工業高等専門学校 環境都市工学科教授
- 第11回/浜 このみさん クッキング・コーディネーター
- 第12回/角本 浩二さん バランスアドバイザー 長野県健康管理士会会長
- 第13回/針谷 友久さん 東京中小企業投資育成株式会社 主任(長野県担当)
- 第14回/水野 守也さん 長野市総務部次長 兼庶務課長
- 第15回/バドゥ・ヒエイラ監督、薩川了洋コーチ、貞富信宏キャプテン
- 第16回/町田 良夫さん 社団法人長野市農業公社 常務理事
- 第17回/中山 修さん 中山法律事務所 弁護士
- 第18回/塩澤 研一さん (財)いのちの森文化財団副理事長 (株)水輪ナチュラルファーム代表取締役
- 第19回/小出 陽子さん (同)ふきっ子的お八起代表/信州おやきブランド化委員会 研究会リーダー
- 第20回/宮城 恵美子さん (有)宮城商店専務取締役/木の花屋
- 第21回/志村 雅由さん NPO法人 飯綱高原よっころしよ 代表理事
- 第22回/薩川 了洋さん AC長野パルセイロ新監督
- 第23回/石沢 一男さん (有)田舎工房 代表取締役
- 第24回/新谷 志保美さん バンクーバーオリンピック代表 (株)竹村製作所 勤務
- 第25回/越 和宏さん スケルトン競技3大会オリンピック日本代表 (株)システックス所属
- 第26回/鈴木 政一さん 長野パルセイロ・アスレチッククラブ強化本部長
- 第27回/千村 尚司さん 千村ブレイン代表・ソムリエ
- 第28回/川崎 史郎さん フリーライター・市民記者ネット代表
- 第29回/安藤 長一さん 篠ノ井消防署署長、緊急消防援助隊長長野県隊長(第二次派遣隊)
- 第30回/マブソン 青眼さん 俳人・比較文学者
- 第31回/井上 裕子さん 信濃毎日新聞社編集局地域活動部長・編集委員
- 第32回/田幸 淳男さん 信越放送取締役相談役
- 第33回/飯室 織絵さん 観光客向けゲストハウス「1166/バックパッカーズ」運営
- 第34回/相原 哲さん ながの町神輿連合会武睦会 会頭
- 第35回/小林 亨さん 日本オリンピック委員会(JOC)勤務
- 第36回/薩川 了洋さん AC長野パルセイロ監督
- 第37回/小宮山 義光さん 日本野鳥の会長野支部会員
- 第38回/塩澤 研一さん 農業生産法人水輪ナチュラルファーム代表取締役/(財)いのちの森文化財団 副代表理事
- 第39回/因田 達男さん NTT東日本 長野支店長
- 第40回/山田 隆さん しなの鉄道(株) 専務取締役
- 第41回/藤岡 牧夫さん イラストレーター・絵本作家
- 第42回/矢澤 秀成さん 園芸研究者/ながの花と緑そして人を育てる学校校長
- 第43回/近藤 京子さん カウンセラー/NPO法人「わくわく志事研究所」所長
- 第44回/栗田 貞多男さん 写真家
- 第45回/鴨志田 明弘さん 野村不動産アーバンネット株式会社 企業不動産部専任部長
- 第46回/天野 良彦さん 信州大学工学部物質工学科教授
- 第47回/美濃部 直彦さん AC長野パルセイロ監督
- 第48回/丸田 勉さん 脚本・演出家 森の家 林りん館館長
- 第49回/浅野 邦子さん 株式会社 第一 代表取締役会長
- 第50回/平沢 幸子さん 長野朝日放送 アナウンサー

- 第51回/本田 美登里さん AC長野パルセイロ・レディース監督
- 第52回/小田 與之彦さん 株式会社加賀屋 代表取締役社長
- 第53回/廣井 紀文さん 株式会社ディーテス 代表取締役社長
- 第54回/羽生田 豪太さん 株式会社羽生田鉄工所 代表取締役
- 第55回/中島 麻希さん 1級フードアナリスト
- 第56回/齋藤 安彦さん 宮司
- 第57回/屋敷 陽太郎さん NHKチーフプロデューサー
- 第58回/平山 優さん 歴史研究者
- 第59回/西村 知子さん 寺町商家運営アドバイザー
- 第60回/広瀬 毅さん 株式会社CREEKS 広瀬建設設計室代表
- 第61回/浅野 哲也さん AC長野パルセイロ監督
- 第62回/中島 恵理さん 長野県副知事
- 第63回/服部 秀人さん 信州・橋の日推進協議会専務理事/エコファーマー
- 第64回/平尾 勇さん 長野県観光機構エグゼクティブ・プロデューサー(前松本市商工観光部長)
- 第65回/野池 裕子さん ダイヤモンド・セルフ長野ファースト 代表・講師
- 第66回/愛甲 宏明さん 炭平コンピューターシステム株式会社 代表取締役社長
- 第67回/坂橋 克明さん フリーパーソナリティ
- 第68回/宮下 秀樹さん 株式会社守谷商会 執行役員、国立長野高専客員教授
- 第69回/金田一 真澄さん 公立大学法人 長野県立大学 学長
- 第70回/笹本 正治さん 長野県立歴史館 館長
- 第71回/山本 克也さん 長野市芸術館 総支配人
- 第72回/AO VIVO(オー・ヴィー・ヴオ):竹内 浩一・中川 雅紀・山極 ありじ優子・長谷川 裕晃・中田 寿寛
- 第73回/山浦 直人さん 土木・環境しなの技術支援センター理事、長野県立歴史館客員学芸員
- 第74回/松本 克幸さん 協栄電気興業(株) 取締役副会長
- 第75回/大室 悦賢さん 長野県立大学グローバルマネジメント学部教授/ソーシャル/イノベーション創出センター長
- 第76回/AO VIVO(オー・ヴィー・ヴオ):竹内 浩一・中川 雅紀・山極 ありじ優子・長谷川 裕晃・中田 寿寛
- 第77回/水間 源さん 東御市役所 地域おこし協力隊
- 第78回/小澤 吉則さん 一般財団法人 長野経済研究所 理事・調査部長
- 第79回/AO VIVO(オー・ヴィー・ヴオ):竹内 浩一・中川 雅紀・山極 ありじ優子・長谷川 裕晃・中田 寿寛
- 第80回/森田 舞さん ゆめサボママ@ながの 共同代表
- 第81回/新井 精一さん 千広建設株式会社代表取締役
- 第82回/竹内 伊吉さん 大成産業株式会社代表取締役社長
- 第83回/AO VIVO(オー・ヴィー・ヴオ):竹内 浩一・中川 雅紀・山極 ありじ優子・長谷川 裕晃・中田 寿寛
- 第84回/シュタルフ 悠紀 リヒャルトさん AC長野パルセイロ監督



通信

Vol. 85
2022.7



NUPRI
Nagano Urban Policy Research Institute

NPO法人 長野都市経営研究所

〒380-0834
長野市大字鶴賀問御所町1289-1丸本ビル2F
TEL.026-235-7911 FAX.026-235-6166
www.nupri.or.jp
e-mail:nupri@nupri.or.jp

NUPRI
Nagano Urban Policy Research Institute

NPO法人 長野都市経営研究所

第85回

「新しい資本主義が目指す社会」

講師／若林 健太さん 衆議院議員

■座長:岩野 彰／会場:長野ホテル犀北館 南館2F 令和4年7月28日(木) 18:00~19:30

日中は灼熱、夕暮から夜半にかけて強雨に見舞われる日が続く7月下旬——宵のわいがやサロンにお招きしたのは若林健太さん。議員生活ならびに今後の日本が目指す道筋について語っていただきました。

昨秋の衆院選では長野1区から出馬・当選させていただき、ありがとうございます。選挙区で選ばれるのと比例復活とでは何が違うのかと質問される事があります。地元の課題を省庁へつなげ交渉する際にも、選挙区選出議員として、地元の声を直接背負って発言できると、力の入り方が違う様に感じます。いずれにしても長野1区衆議院議員として、市町村の課題解決にしっかりと取り組んで参りたいと思います。

政治家は決断するのが仕事

参議院選の終盤、安倍晋三元首相が凶弾に倒れるという思いもよらぬことが起きました。実は私は安倍派(自民最大派閣清和会)に属しています。安倍さんには大変可愛がってもらい、エピソードは山ほどあります。第2次安倍内閣では外務大臣政務官を任せられ、さまざま取り組みました。安倍さんが内閣の責任をもってやると宣言された「2020東京オリンピック」招致の際にはブエノスアイレスからの帰りの飛行機で共に祝杯を挙げた時の安倍さんの言葉が忘れられません。「政治家というのは(経営者もそうですが)決断するのが仕事。リスクを取っても結果を出すんだ。」と。民主党政権から自民党に変わったときは「日本に蔓延したデフレマインドを払拭し、日本をもう一度世界の真ん中で輝かせる!」「日本人の勤勉さと技術力によって実現できるんだ」と述べられ感動しました。常に夢を語り、成果を残された——私は安倍さんが教えてくれたことをしっかり引き継いでいく覚悟です。

我が国の現状 私たちは、いま、どこに、立っているのか

[資料参照]日本の1人当たりGDP(国内総生産)の世界ランキングはどんどん落ち込み2019年は22位、その後も下落しています。日本型過剰サービスがネックとなって生産性を上げてこない。大企業が蓄積した内部留保を、いかに地方や中小企業へトリクルダウンさせるかが大事です。財政赤字を補うために大量発行している国債は打ち出の小槌でない。借金をいつまでも続かせるわけにはいきません。一方で、将来のために必要な財政投資は積極的に行うべきと考えています。私自身はプライマリーバランス(国と地方の基礎的財政収支=社会保障や公共事業等の政策経費を新たな借金なしで賄えるかどうかを示す指標)を維持し、借金を増やさない一定のルールが必要と考えます。

我が国の特異性 私たちは、いま、どんな国に、なっているのか

1. 課題先進国: 少子化は他の先進国でも問題化されているが我が国はすごいスピード。2. 中途半端規模国: 少子化対策や福祉に関して北欧でやれていることが日本はなぜ出来ないといわれますが、北欧は国が小規模だから実行出来る。日本は人口1億2千万超と多いほか事を成すのに難しい規模。3. 危機感欠如国: 先ほど述べた借金財政についても、軍事においても危機感が足りない(北にロシア、西は中国・北朝鮮に接しているのに)。4. ライフライン依存国: 日本の食料自給率はカロリーベースで37%。米を食べなくなった/肥料・飼料を輸入に頼っている等。エネルギーも自給率11%となっています。



わかばやし けんた 1964年、長野市生まれ。税理士・公認会計士。2010年、通常選挙で長野県選挙区から自民党公認で出馬し初当選。21年、衆議院議員総選挙長野第1区当選。

新しい資本主義

今お話ししたことを踏まえて、本題に入ります。岸田首相が目指す「新しい資本主義」は、アベノミクスの修正版といった側面があると見ています。ではアベノミクスと何が違うのか? アベノミクスは3本の矢(大胆な金融政策/機動的な財政政策/成長戦略の推進)でもってデフレから脱却させ、経済成長を起こそうとしたが輸出関連大企業に内部留保され、地方や中小企業へ利益が回っていかなかった。そこで岸田さんは新しい資本主義での第一の柱は人への投資だとして、賃金引き上げを掲げた。

「モノより人へ」の岸田さん曰く——現代の企業はDX(デジタルトランスフォーメーション/デジタル化によって組織やビジネスモデルの変革をはかる一連の取り組み)GX(グリーントランスフォーメーション/温室効果ガスを発生させないグリーンエネルギーに転換することで産業構造や社会経済を変革し成長に繋げる)の大きな変革の波の中にあり、この荒波の中で創造性を発揮するには相対的に人の重要性が大きくなる。官民が協力して(新しい資本主義の2つ目の柱は「官民連携」)不断の努力で科学を進歩させ(科学の進歩を諦めるべきでない)、困難を乗り越えなくてはならない。

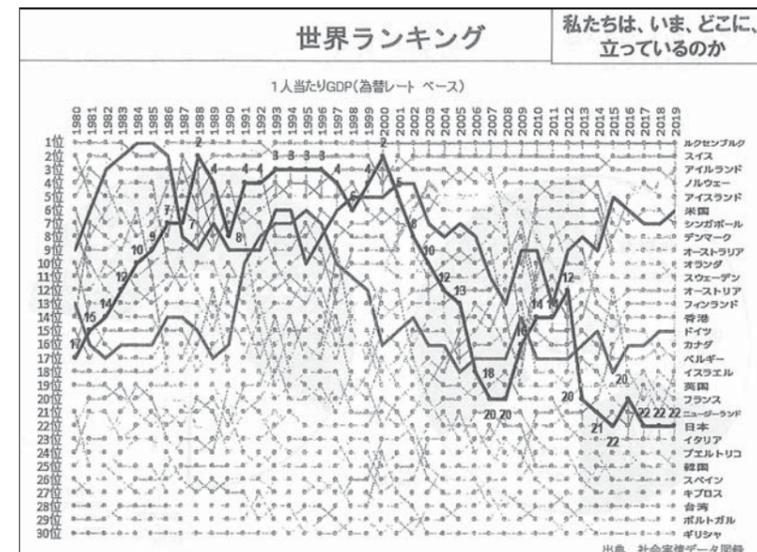
もう一つ、新しい資本主義の重要な柱は「地方」だ、として岸田さんが提唱するのが「デジタル田園都市国家構想」。田園都市構想といえば昔、大平正芳首相が掲げた政策ですが(大平さんは岸田さんがいる宏池会の大先輩です)、岸田さんはデジタル技術の活用によって個性あふれる地方が活躍する多様性ある社会の実現を目指す旗を掲げています。既に国は地方でいろいろな事業を進めていて長野県内では伊那で無人バスが走っており、全国各地のドローン物流の取り組み等に対して支援が行われています。

先の国会で最大の議題は経済安全保障でした。ロシア・ウクライナ問題が起き、世界が民主主義国家とそうでない国家に分かれた。新しい国際秩序の下で、サプライチェーンの見直し等が求められています。経済安全保障と共にエネルギー安全保障と食糧安全保障について、しっかりと注目していきたい。

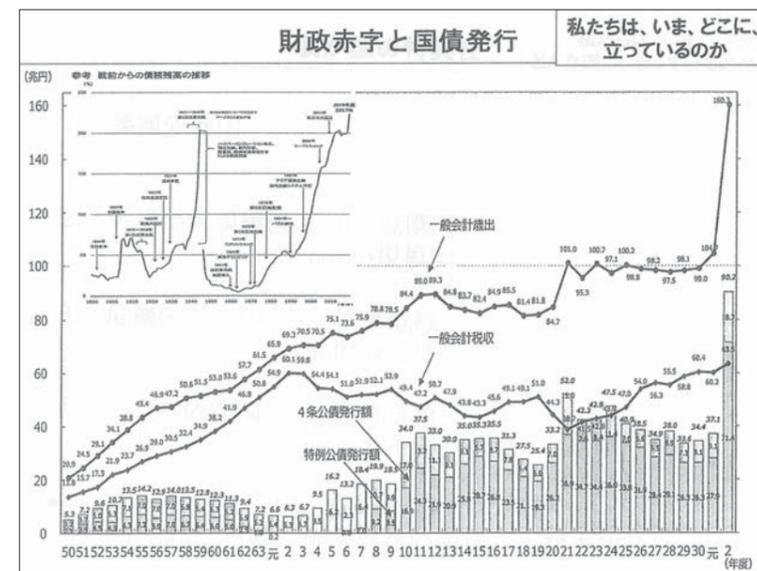
日本の政党政治 変化への予兆

日本共産党が結党百周年を迎えました。綱領を改正し、ヨーロッパの様に中道左派へ舵を切る事が求められていくのではないかと思います。そうでなければ立憲民主党が共産党と手を組み、政権交代可能なもう一つの選択肢となるのは難しいと思います。参政党、日本維新の会の躍進がありました。自民党も既得権の中で、時代の変化に合わせた改革ができない様だと、こうした政党に支持を奪われかねません。

大きな時代の節目。変革期に入って政党のあり方も大きく変わっていきます。時代を透徹した視線を持ち、政治家として改革の時代を生き抜いて参ります。今後ともご指導の程を宜しく願います。



第4次産業革命といわれている今、日本が先進国として生き残るためには大きな政策転換が必要



債務残高は第二次世界大戦時を超え、史上最高



講話後、「国債発行」「人づくり=教育」についてQ&A。コロナ第7波に対処し、早々に解散しました。